

## 令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	24	学校名	磯城野高等学校
----	----	-----	---------

### 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	地域農作物の活用プロジェクト
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	フードデザイン科2・3年生(117名)科目「調理実習」、「製菓実習」、「食品」の授業として行う。地域農作物を知り、それを活用したレシピを検討・調理・販売・広報等について必要な力を身に付けさせる。
連携・協働相手	多集落営農組合・JICA 関西、三宅町(三宅町交流まちづくりセンターMiMo)
地域と共有している目標・課題等	地域農作物(米粉・小麦粉・金ごま)の普及を目指す。
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
<p>JICA主催「大和高田からつながろう」において多集落産小麦粉を使用したサンドイッチ「バインミー」を販売した。多集落営農組合主催クリスマスケーキ講習会や御所市チャレンジ講座で多集落産米粉を使用したレシピを提供し、地域の方々や御所市内の小学生に「クリスマスケーキ講習会」を行った。また、同組合の方々に来校をしていただき、1年生(40名)科目「食品」で米・小麦について講義をしていただいた。さらに、三宅町主催「Miimo Valentine Market2026」で同町産の金ごまや野菜、本校農業科の米や鶏卵を使用した「おいなりさん弁当」、「金ごま食パン」、「プリン」などを販売することができた。</p> <p>これらの活動を通し、日頃の学習内容を深化させるとともに、地域の特色を理解し、地域の方々と協働しながら、地域農作物の普及や地域の活性化につなげることができた。さらに学校の魅力発信を図ることができた。</p>	

### 2. 事業の成果と課題

<p>年度当初予定していた計画より、連携先のご協力で多くの取り組みをさせていただくことができた。地域や学校の農畜産物を使用した講習会や調理品の販売は、地域農作物の普及、地域の活性化、学校の魅力発信に繋がったと考えられる。特に、講習会や調理品の販売では地域の方々と交流を図るよい機会となった。地域との連携・協働を通じ、相互理解を深めながら地域の課題に取り組むことで生徒たちは、新たな知見を得、発見することができた。今後も地域との連携・協働を積極的に図り、生徒の学習意欲向上、地域と学校双方の魅力をさらに引き出す取り組みを継続していきたい。</p>
--

